

むらかみ 元気マガジン

Vol.16

「親が楽になって子どもが悪い」

ケンカ売ってるみたいでごめんなさい、

悩んでない親なんていないんです。困ってない親

なんていません。子育てを楽しんで、子どもや

家族とちゃんと向き合うためには、親が楽になるのが

一番だと思っています。

「今どきの子どもは・・・」

今どきの子どもほど大変な子どもはいないんです。

子ども達の苦しい、辛い、そんなサインを拾う

ことができたらと思います。

「一人では無理」

たくさんの方達に助けていただいています。

ありがとうございます。

NPO法人こニスタ 本間まゆみ

CONTENTS

【特集】

地域の子どもを地域で育てる

子育てを応援する

手作りの場

2 SSキッズ

3 わくわくキッズさべり

放課後よれっしゃ

4 パパママカフェ

村上パパサークル

5 あらしまラベンダーひろば

山北あつぷる広場

6 雑感

地域で子どもたちを育てる

― 居場所とつながり ―

7 面白い人・取り組み紹介

NPO法人こニスタ

本間まゆみさんに直撃！

8 地域団体紹介

NPO法人 希楽々

特集

地域の子どもを地域で育てる

子育てを応援する 手作りの場

近所に子どもたちの笑い声が響きわたる…

そんな当たり前の光景が少なくなった今、この地域にとって子どもたちの存在は宝物です。とはいえ、子どものいる家同士のつながり、隣近所のつながりが薄くなり、親子が孤独を感じる場面もでてきています。そのような状況を解決しようと、地域の子どもたちを地域の皆で育てていくために、子どもたちと気軽に集える、手作りの場が続々と生まれています。今号では子育て中のパパママを支え、子育てを応援する場をご紹介します。

土日、パパは仕事。ママ一人で何人もの子どもを遊ばせられる場所がない。子どもたちはパワフルで、家の中ではおさまりきらず、小さな赤ちゃんがいると、長時間、屋外にいることも難しい。地域外からお嫁に来ると、村上に友達はいない…。力の有り余った子どもたちの相手に疲れ、悩み、孤独になりやすいママたち。

そんな困り事を自分の手で解決しようと、小学生以下の子どもを持つ3人のママが始めた活動が「SSキッズ」です。今、親子が気軽に来られる室内の公園提供イベントとして定着しています。



自分たちが負担にならないように継続していくことで皆が笑顔に…



子ども楽々、ママの心も楽々になる！
室内の公園提供 **SSキッズ**

注目
・小学生以下の子どもを持つママが運営
・日曜日の遊び場を提供。ランチ持ち込み可

2年程前、自分の子どもを遊ばせるために始めた活動が、SNSと口コミで広まり、同様に困っていたママが続々と集まりました。様々な年齢の子がいる環境の中で、年上の子が年下の子の面倒を見たり、初めて会う子と仲良く遊びながら社会性を身に付けることもできています。

子どもたちが思い切り楽しめるだけでなく、子どもを遊ばせながらママ同士がつながり、情報交換することで、「また明日から頑張ろう」という気持ちになれる場所です。

「初めて来るのは勇気がいると思いますすが気軽に来てほしいです。自分たちに何かできるわけでもないけれど、待っています。」と、会長の川内さん。

土日、仕事がお休みのパパを、ゆつくりさせてあげたい：という方も、是非ご利用下さい。

日時：第2、第4日曜日 10時～14時半 ※変更もあります
会場：瀬波児童館他
対象：0才～小学校3年生まで
参加費：1家族100円
連絡先：facebook ページ (QRコード参照)



今、山辺里の放課後が熱い！

山辺里地区では、児童保育所とは別に、小学生が放課後集まる場「わくわくキッズクラブ」が放課後よれっしゃがはじまりました。特色あるこの場、子どもたちの特性、教育方針、家の都合によつて場所を選択するようになり、広がりをみせています。



子どもたちがいきいきわくわく楽しめる場所 わくわくキッズクラブ



・特技を持つ、地域のじじいばばがスタッフ
・勉強だけでなく、様々な分野の体験ができる

次代を担う子どもたちが健全に育つ場をつくるため、本気で取り組もう！と立ち上がった、「わくわくキッズクラブ」。

スタッフは山辺里地区在住、60代前後の男女10名。活動のきっかけは、村上市生涯学習課から放課後子ども教室開催の提案があったこと。山辺里地区まちづくり協議会で開催された「さべり場」という意見交換会や、地域コーディネーターからの「地域の子どものための場がほしい」という声が合わさり、昨年夏休みからスタート。

毎回、スタッフの得意分野を活かした体験プログラムが用意されています。昔の遊び工作体験、楽器づくりやコンサート、調理実習、読み聞かせなど、分野が偏らないよう注意しながらプログラムを作

子どもが楽しむために大人も楽しむ！



日時：月1回 木曜日 15時～16時半
会場：村上農村環境改善センター
対象：山辺里小学校1年生～3年生まで
参加費：無料
連絡先：53-2715（村上農村環境改善センター）

成し、参加する子どもたちが、楽しみながら学べる場を提供しています。スタッフ同士が密にコミュニケーションをとり、子どもたちも、スタッフのじじいばばもわくわくする場が生まれ、山辺里の元気づくりにつながっています。



子どもの居場所から地域の居場所を目指して… 放課後よれっしゃ



・地域の方の参加、大歓迎！
・子どもの意思を尊重した自由なプログラム

今年4月から始まった「放課後よれっしゃ」は、「地域と子どもたちがふれ合う機会をつくりたい」という想いを持ったメンバーが集う「さべり地区と子ども達をつなぐ会」が主催しています。

地域に子どもの姿が見えなくなり、子どもが地域の人と日常のやりとりをすることが少なくなっていることから、子どもたち同士だけでなく、地域の人も交流できる場を目指して運営しています。

「放課後よれっしゃ」の特徴は子どもとの信頼関係を重視することと、素材にこだわったおやつ。また、学習する楽しさを味わってもらおうと積極的に学習支援を行っています。子どもたちは自分のペースに合わせて机に向かい、スタッフと会話しながら徐々に集中していきます。元教員のスタッフもおり、丁寧に指導を行います。おやつは体にやさしい材料で、その場で手作りしたものを用意。調理室では、宿題を終えた子どもが、一緒におやつを作ることもあります。

丁寧な学習支援で子どもたちのやる気をサポート！



日時：週1回 主に月、木曜日 15時～17時
会場：村上農村環境改善センター
対象：山辺里小学校1年生～6年生まで
参加費：1回300円程度（月ごと）
連絡先：53-0575（まなび塾 池江）

できるだけ家に帰ってきたのと同じ雰囲気でも過ごしてほしいと考へ、一定のルールのもとに、いっ何をするかは子どもたちが選択するスタイルのため、遊ぶ子と勉強する子が同じ空間にいます。子どもたちの意思が尊重される場で、信頼関係が築かれていました。

地域の方の参加も大歓迎のことです。お子さんが身近にいらつしゃる方も、そうでない方も「放課後よれっしゃ」に是非立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



おじいちゃん、おばあちゃんも大歓迎！

◆ 神林子育て支援センター

◆ パパママカフェ



・1日のんびり過ごせる、年齢枠なしの支援センター
・アレルギー対応の手作りスイーツ提供

総合型地域スポーツクラブのNPO法人希楽々が運営するようになった神林子育て支援センター。

運動や教育の要素を取り入れながら、親子と一緒に活動し、いつでも居心地良くのんびりできる場にしたと、土曜日も開所。毎月、運動や工作などのイベントが行われています。

支援センターとしては珍しく、参加する子どもの年齢枠はありません。兄弟がいるお子さんも来られるようにしつつ、遊ぶ部屋を分けるなど安全面での工夫をされています。ランチ時間中は部屋を開放しており、希望者は昼食を持ち込んで食べることもできるため、丸1日利用することも可能です。

ママの利用だけではなく、おじいちゃんやおばあちゃんが孫を連れて来るともすれば。開所時間の中で、自分のペースに合わせて利用が出来ます。

また月に1回「パパママカフェ」を開催しています。パパ、ママに

時間を気にせず過ごせる居心地の良さ



加え、おじいちゃん、おばあちゃん、これからパパママになる人など対象は幅広く、ものづくり体験、コンサートなどのイベントや、スイーツとドリンクでカフェタイムを楽しむことができます。スイーツはスタッフ手作り。事前申込みをすると、子どものアレルギーにも対応したスイーツを作ってください。という心配りも。神林地区以外からの参加も可能ですので、足を運んでみてください。

日時：月～土 9時半～11時半・13時半～15時半
会場：神林子育て支援センター
対象：未就学児まで
参加費：無料（イベント材料費等かかる場合あり）
連絡先：66-7297（神林子育て支援センター）



パパ同士支え合い、楽しい育児を

村上パパサークル



・パパ同士が子育てについて話せる場
・お酒付きの企画もあり！



子どもと一緒にパパも人生楽しもう！

日時：不定期
会場：特になし
対象：お子さん、お孫さんを持つ男性
連絡先：murakamiohananet@gmail.com
(村上 ohana ネット)

育児に積極的に取り組むパパを指す言葉「イクメン」。そんな言葉に応えようと仕事も家庭も頑張ろうとするパパが、日常に疲れ、孤立する状況がうまれています。

パパのワークライフバランスを考え、子どもと過ごす時間の大切さを感じてもらいながら、信頼して話せる仲間づくりをしたいと、今年4月に立ち上がったのが「村上パパサークル」です。

今のメンバーは10名。職場やPTA関係で飲み会はあっても、家

庭の悩みや困り事は話しづらいため。先輩パパにグチをこぼしたり、相談できる貴重な場となっていました。

他のママの意見を聞きたいという参加者の声もあり、開催されるイベントには女性の参加も可能。共同作業や、スキルアップできる教室の中で自然なつながりを作ることが出来ます。もちろんお酒付きの企画もあり、構えずに参加できる雰囲気です。

村上 ohana ネット・村上中央公民館が主催する「のんびりパパカフェ」では、パパサークルのメンバーも参加し、自分の特技を活かして講師を務めるなど、パパの活躍の場も広がっています。

頑張り過ぎず、できることから楽しく子育てをするため、本当の意味でお互いに支え合い、助け合えるパパ同士のつながりを築いている「村上パパサークル」。メンバー募集中です。まずは、気軽にパパカフェへご参加ください。

地域のニーズに合わせて“進化”する「ママカフェ」

ママたちが子どもを連れて気軽に集える場として村上 ohana ネットが村上市内で始めた「ママカフェ」。自分たちの地域でも開催して欲しいというママたちの声に応える形で、今村上市内各地で、その地域の特性やニーズに合わせた場が生まれています



ばあばの手を借りて、ママもリフレッシュ あらしまラベンダーひろば ラベンダーママ&ばあばカフェ



- ・旧保育園を活かした豊富な遊び場
- ・知識と経験のあるスタッフがサポート

今春より、荒川地区にある旧荒島保育園が地域の方のつどいの場「あら、ほっ」としてオープン。誰でも立ち寄れる、自由な場として活用されるようになりました。

そのスペースを使って開催されているのが、地域のみんなで子育てをする「あらしまラベンダーひろば」。主催するのは、あらかわ地区まちづくり協議会と村上 ohana ネットで、実際の運営は、子育ても経験している元保育士や看護師などのおばあちゃんサポーターとママサポーターが中心。

基本的にママ同士の交流がメインですが、サポーターとのちょっとした会話の中でおばあちゃんの知恵が聞けたり、子育てについての相談ができるのも「ラベンダーひろば」ならではの。

遊具のある園庭も使うことができ、おもちゃも充実しているため、子どもがのびのび遊べます。

また同会場では2ヶ月に1回、イベント付きの「ラベンダーママ&ばあばカフェ」があり、月1イベントとして工作教室やエクササイズ教室も行われます。孫連れのおばあちゃんも参加されることもあり、世代間交流も生まれています。

ママ&ばあばが気兼ねなく立ち寄れる広場を是非ご利用下さい。



日 時：毎週水曜日 9時半～11時半（サポーターあり）
平日15時～17時・日曜13時～17時（サポーターなし）
会 場：つどい場「あら、ほっ」（旧荒島保育園）
対 象：なし
参加費：無料
連絡先：62-3102（あらかわ地区まちづくり協議会）



のんびり食事やお風呂も楽しめる 山北あっふる広場・あっふるママカフェ



- ・夜の時間帯も利用可能
- ・充実した施設でゆっくり過ごせる

さんぽく体験交流企業組合が運営している交流の館「八幡」の中にある、地域の方の交流の場「まちづくりハウス」が、子育てを応援する親子の居場所「あっふる広場」として利用されています。



日 時：毎日 9時～21時
会 場：交流の館八幡内まちづくりハウス
対 象：なし
参加費：広場利用無料（食事やお風呂は有料）
連絡先：60-5050（交流の館八幡）

あっふる広場はとにかく自由！子どもを遊ばせながら、同施設内の食堂「かがり火」の食事を食べたり、温泉に入った後、子どもとゆっくり休憩、お菓子を持ち寄ってお茶することもできます。そんな施設の特徴もあってか、日曜日に若いパパが子どもと一緒に利用することも。

また、2か月に1回、食堂「かがり火」を利用して「あっふるママカフェ」も開催されています。読み聞かせやアロマワークショップなどのイベントもあり、ママたちに癒やしを提供しています。

若いパパやママが気軽に来れる場所になってほしいという想いから、自由に使えるスペースと目的のあるイベントを組み合わせ、参加者の方が場を選べるような工夫がされています。

あっふる広場は貸切利用が入ることもあるため、ご利用の際は念のため電話でお問合せください。

地域で子どもたちを育てる —居場所とつながり—

都岐沙羅パートナーズセンター 村山 優子

どうも「子育て」って未来のための大切なキーワードらしい

いつの間にかこんなに子どもたちが少なくなったのだから？

しばらくぶりに保育園や、小中学校に行く機会があり、最初に感じたことです。その反面、以前とは比べものにならないくらい、父親が子育てに関わってくれているのにも驚かされます。

魅力的な子育て支援があれば若い人が移り住んでくれるのでは…。

そう考えると「子育て」は未来のための大切なキーワードになりそうです。子育てをするなら村上で、なんてブームが起きるくらいになれば良いですね。

公共の支援センターや児童館などの他にも、地域で子どもと一緒に楽しめる場を提供してくれる団体が多く存在します。キッズスペースのあるお店も増えました。居場所があり、つながることで子育ての負担が軽減されることは確かです。

**こども食堂の大切な役割は
地域とつながることだと思っ**

こども食堂とは、子どもが一人でも安心して来られる無料または低額の食堂です。

ひとりぼっちでご飯を食べなければ

ならない孤食を防ぐために始まり、全国で広がりをを見せています。村上でも検討が始まっていて、すでに開設しているところもあります。

そこには居場所があります。そこではたくさんのお大人と関わりを持ちます。一緒にご飯を食べることで大きな家族のようになれます。親だけでは解決できない部分を地域で補っていく形が、これからも求められていくことでしょう。

**地域で子どもを育てると言ったら
おまつりは欠かせない**

村上では、地域をあげての祭りや伝統芸能の継承が各地で行われています。

私の住んでいる地域では、おまつりが地域の子育ての役割を果たしています。幼児から高校生までを集めて、毎晩お囃子の練習。若い衆が交代で、あるときは厳しく、あるときは優しく指導します。おまつり当日は乗り子係が付き、何かと世話をしてくれます。子どもたちは年齢を越えて交流し、大きく成長します。おまつりの間の濃密な関わりが地域の絆を深め、ふるさとを大切にしている根っこになっていくのです。



NPO 法人ここスタ 本間まゆみさんに直撃！

ほんま
本間 まゆみさん 村上市北赤谷

昭和 36 年生まれ、56 歳。
柏崎の専門学校卒業後、県立病院に看護師として勤務。カウンセリ
ングの資格を取得し、平成 7 年～院内で患者さんやスタッフの相談
を受け始めるが、病院の中だけでできる支援に限界を感じ、平成
18 年に退職。さんぼく南小学校で学校支援ボランティアを経験。
平成 20 年にペアレントトレーニングという手法と出会い、子育て
に悩む人に寄り添い、頑張りすぎない子育てを広めている。

面白い人・取り組み紹介インタビュー

◆ペアレントトレーニングとは…

ペアレントトレーニングとは、
親が子どもとのより良い関わり方
を学びながら、日常の子育ての困
りごとを解消し、楽しく子育てが
できるよう支援する保護者向けの
プログラムのことです。

本間さんは自分自身が子育てに
悩み、自分の子育ては何なのか考
えたことがきっかけで、子育てに
ついて勉強するようになったそう
です。

自分が学んだことを実践してい
く中で、子どものことを怒らなく
て良くなり、自分自身がとても楽
になった経験から、ただ相談した
り、話を聞くだけでなく、親自身
も勉強をして、子育てについての
知識や技術を身につけることが必
要だと感じたことが、今の活動の
原点になっています。

◆その人の力を引き出すサポート

病院を退職した後、さんぼく南
小学校に学校支援ボランティアと
して関わるようになった本間さ
ん。保育園から小学校に上がると
きに子どもが環境の変化に対応し



即実践できることばかりの具体的な講義

づらいという小1ギヤップをなく
すために、入学前から学校の雰
囲気を感じて入校できるように取
り組みを先進的に取り入れます。

また、学校内に子ども、親、先
生が安心して相談できる場や機会
を開設。その後、学校へ来づら
い人のために地域の交流施設や学
童保育所に相談窓口を設けるなど、
悩みを一人で抱え込まず、気軽
に相談できる場をつくってしま
した。

相談を受けながら、行政や学校
などと連携し解決のために動い
ていく中で、支援する側のスキル
アップの必要性を感じ、この地域
に家庭教育支援者を増やすため、
支援に関わる人のネットワークを
築き、育てる取り組みも行ってこ
られました。

現在は、相談を受ける他、ペア

レントトレーニングの講師、若者
の居場所づくりなどに力を入れて
おられます。

親と子どもの個性を大事にしな
がら、それぞれの力を引き出して
いくことに重点を置いたペアレン
トトレーニング講座は、一方的に
教えるのではなく、参加者同士話
しながら、見方を変え、気づきを
促し、その場の参加者が創りあげ
ていく手法。日常の自分の行動、
子どもの行動を意識するようにな
り、参加者自身が解決策を導き出
す力を身に付けます。

また、家に引きこもる若者の居
場所づくりにも取り組んでおられ
ます。ただ集まるだけでなく、誰
かの役に立つこと、誰かに必要と
されることが、若者が一歩踏み出
す、次の力につながると思え、地
域の中で仕事を行う機会を生み出
す活動も行っています。

本間さんが活動の中で大切にさ
れているのは、子どもたちの発達
に応じて、大事に丁寧に関わるこ
と。そして、それぞれの人が持つ
ている力を発揮できるようなサ
ポートを行うこと。

大人も子どもも、日々の暮らし
を楽しみと思えるよう、子育てに
悩む多くの人を支え、頑張らない
子育てを実践する人を増やしてい
ます。

地域団体紹介

総合型地域スポーツクラブ

NPO 法人 **希楽々**

住所：村上市九日市 501 番地
神林総合体育館内

TEL：0254-66-8119

E-MAIL：kirara_kamihayashi@yahoo.co.jp

理事長：渡辺 優子



●活動分野…スポーツ

地域づくり

●活動地域…村上市全域

「いつでも・だれでも・いつまでも」気軽に楽しめるスポーツ活動及び文化活動の振興、地域住民の健全な心身の育成に取り組んでいる希楽々。

積極的に他団体との協働を図り、だれもが参画できる、健康で楽しく元気なまちづくりに寄与することを目的として活動しています。地域の困り事を事業化しているという、スポーツクラブのイメージからは想像の及ばない、多分野にわたる取り組みは、地域外からも高く評価されています。

特集で取り上げた子育て支援は活動の中のごく一部。未就園児から小中学生まで、成長過程に応じて、利用できる空間を充実させていきたいと、数多くのプログラムが組まれています。アフタースクールきさら楽校では、平日の放課後子どもたちが過ごせる場をつくり、共働きの両親が抱える送迎の負担という課題も解決するために、学校に直接迎えに行き参加できるなど、利用者側の目線に立ったサービスが充実しています。また、これまで村上ではあまり



なかつた障がい者スポーツの分野について、障がいを抱えた方が定期的に高齢の方や健康な方と一緒にスポーツを楽しめる機会を設けています。特別支援学校や放課後デイサービスと連携しながら活動を広げていく予定です。障がいを抱えていても、自信を持って取り組めるものを見つけられるきっかけになつています。

高齢者の方の社会参加にも力を入れています。高齢だからといって、周りに支えられるだけではなく、自分も支える側に立つ高齢者の方を増やす取り組みは、大きな波及効果が生まれています。運動をして体力を維持することに加え、企画に参画し、社会の中でやりがいや役割を見つけていることが介護予防にもつながるのです。

世代を問わず、地域の中で気軽に運動できる機会を作り、村上の皆の健康を守っています。

編集後記

ここ数年、村上で一気に増加している子育て支援の場。子どもの人数が少なくなっていることに加え、地域のつながりが薄れてきているからこそ、今この地域に必要な場所です。

若い親世代が地域に出てきたがらないという声も聞かれますが、このような集いの場が増えているのは、単に遊ぶ場所が必要だというだけでなく、その中で生まれる「人のつながり」を求めている人が多いことが伝わってきました。そんな想いが集まって創られた場所は、とてもあたたかく、知っている人がいなくても安心できる空気で満たされています。

ここに取り上げることができなかった場もあるため、地域内には多くの子育て支援の場があります。同じ地域にいっても必要なのか、そんな疑問も生まれましたが、現場に行くと、それぞれの特色と雰囲気の違いに驚かされました。親子の個性に合わせ、そのときの気分に合わせて場を選べるようにするためには、まだまだ拡大が必要です。

〈発行元情報〉

発行日 平成29年9月1日(年2回発行)

取材・編集 特定非営利活動法人

都岐沙羅パートナーズセンター

発行責任 村上市自治振興課

連絡先 0254(53)2111

内線331

